

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

七城中学校3年 古閑由真さん



ぼくが、プラチナ未来人財育成塾に参加して学んだことは六つあります。

一つ目は、小西龍治先生がおっしゃった、リーダーは怒っても最後はしっかりほめてあげるといことです。リーダーは怒らないといけない時はあると思うけど、怒ってばかりだとそのリーダーから自然とはなれていってしまうと思うので、怒ってしまったらしっかりと最後はほめないといけない、ということを学びました。

二つ目は、永山治先生がおっしゃった、日本の文化、歴史と異文化を理解することです。世界で活躍するには、もちろん英語などがしっかり話せないといけないけど、永山治先生が外国の人たちは、日本の文化や歴史など日本のことについて、とても質問されるとおっしゃっていたので、日本のことはしっかり知ろうと思えました。そして、外国の人たちの文化なども、しっかり知っておかないと、いろいろな問題が起きてしまうことを学んだので、異文化にも興味をもち理解しようと思えました。

三つ目は、白川方明先生がおっしゃった、お金を扱う仕事は信頼が一番大切ということ。信頼を得るには、とても長い年月がかかる、ということを学びました。誰もがお金を預けるといことは、信頼しているからだと思われ、信頼されていなかったら、お金を預けたりしないし、その人のためににかしようとも思わないと思えました。ぼくは、信頼されるほうが絶対にいいと

思いました。

二つ目は、プラチナ構想ネットワーク会長、株式会社三菱総合研究所理事長、東京大学第二十八代総長である小宮山宏先生の講話です。プラチナ社会とは、小宮山ビジョン、小宮山先生の理想の社会のことなのです。プラチナ社会の必要条件是、エコロジー、資源の心配がない、だれでも参加できる、自由な選択、雇用がある、ということが分かりました。あの時の私達もこの中にある、「だれでも参加できる」といっしょだと分かりました。それは、まず私達中学生、サポーターをしてくださるチューターさんの大学生、シニアの方々といった全世代が参加して考えているからです。そして、私達もこの講話をきいていることからプラチナ社会をつくることに挑戦しているんだと思えました。

三つ目は柏市長の秋山浩保先生の講話です。千葉県の柏市は環境性能評価システムLEEDで最高のプラチナに認証されているすごいまちです。私達は柏の葉キャンパスを見学しました。このまちは、本当に日本の最先端のまちで、とても豊かだと思えました。まず、災害時のための備えです。少し難しかったのですが電気の管理をしているところでは停電したときの工夫、外では、被災したときに普段はベンチなのに炊き出しができるようになる工夫がしてありました。他にもまちの人々の事を考えて、デパートの中には健康のための場や、まちには歩道にイスが

あったり、緑がいっぱいあったりして、とてもきれいで住みたくなる所でした。

四つ目は元陸上競技選手、男子400メートルハードル選手の為末大先生の講話です。私は「一日一日に目標をもつ」という言葉が心に響きました。なんでもやること全てに目標をもってやりたい、先生の生き方をまねしたいと思えました。そうすれば先生みたいな人生、でも自分しか送れない人生が送れると思ったからです。私はこのプラチナ未来人財育成塾の講話の中の共通点を見つけてきました。それは視野を日本、世界にまで広げて今も動いていることです。そのために言語学習が必要だということ。私は将来、絶対に海外に行つてやる！と思えました。この紙と文字ではおさめきれないほどの知識と話が他にもたくさんありました。

今回は私にとってきつと人生で一度の貴重な経験で、たくさんの財産とヒントを持って帰ることができました。この機会です。将来の夢がまた変わるかもしれないけれどつくるのができました。この財産をこの人生で使い切つて、行動で残していきます。

こんな体験ができたのは、菊池市の方々、学校の先生方、家族の皆様、チューターの方々、シニアの方々、そして講話をして下さった先生方、企画していただいた方、新しくできた友達などのたくさんの方の支えです。本当にありがとうございます。とっても楽しい六日間でした。

※作文は抜粋しています。

プラチナ未来人財育成塾

参加報告

プラチナ未来人財育成塾で学んだこと

泗水中学校2年 奥村蘭乃さん



私は、夏休み期間中に「プラチナ未来人財育成塾」に行つてきました。「プラチナ未来人財育成塾」とは質のいい社会、つまり「プラチナ社会」を実現するためのリーダーを育成し、それに必要な知識を身につける場です。この6日間では普段の生活以上に毎日同じような決まった日程でしたが、普段の生活とは比べものにならない一秒一秒の発見でとても充実した毎日でした。

ここでは、十四人の人間国宝とも言えるような素晴らしい講師の方々の講話をきくことができました。そこで、私が特に心に残つた四人の講師の方々の講座、講演について書こうと思えます。

一つ目は、中外製薬株式会社代表取締役会長の永山治先生の話です。「世界でビジネスをする」というテーマの中でリーダーについての話がありました。この講話で分かった事はリーダーに必要な要素は正直、親切、勤勉、前向きだということです。そして、リーダーとは、「ついてこい」と言つて引張る人ではなく周りの人達が勝手についてくる人、ついていきたいと思われ

る人だということです。これは、私の考えに無かった、私の思い込みをひっくり返す言葉でした。目立ったり、誰かを引っ張ったりするだけがリーダーじゃない、ということが分かりました。私が所属している部活での部長を決めるときはこの話を思い出して私がついていきたいと思った人を選び、さっそくこの機会を生活に生かせることがで

きました。

二つ目は、プラチナ構想ネットワーク会長、株式会社三菱総合研究所理事長、東京大学第二十八代総長である小宮山宏先生の講話です。プラチナ社会とは、小宮山ビジョン、小宮山先生の理想の社会のことなのです。プラチナ社会の必要条件是、エコロジー、資源の心配がない、だれでも参加できる、自由な選択、雇用がある、ということ

が分かりました。あの時の私達もこの中にある、「だれでも参加できる」といっしょだと分かりました。それは、まず私達中学生、サポーターをしてくださるチューターさんの大学生、シニアの方々といった全世代が参加して考えているからです。そして、私達もこの講話をきいていることからプラチナ社会をつくることに挑戦しているんだと思えました。

三つ目は柏市長の秋山浩保先生の講話です。千葉県の柏市は環境性能評価システムLEEDで最高のプラチナに認証されているすごいまちです。私達は柏の葉キャンパスを見学しました。このまちは、本当に日本の最先端のまちで、とても豊かだと思えました。まず、災害時のための備えです。少し難しかったのですが電気の管理をしているところでは停電したときの工夫、外では、被災したときに普段はベンチなのに炊き出しができるようになる工夫がしてありました。他にもまちの人々の事を考えて、デパートの中には健康のための場や、まちには歩道にイスが